



平成 21 年 6 月期 第 3 四半期決算短信（非連結）

平成 21 年 5 月 15 日

上場会社名 株式会社かんなん丸 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 7585 URL <http://www.Kannanmaru.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 栄治
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部次長 (氏名) 菊田 聡 TEL (048) 881-9056 (代表)
 四半期報告書提出予定日 平成 21 年 5 月 15 日

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 6 月期第 3 四半期の業績 (平成 20 年 7 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年6月期第3四半期 | 4,765 | — | 298 | — | 320 | — | 184 | — |
| 20年6月期第3四半期 | 4,845 | △0.6 | 315 | △26.8 | 315 | △25.9 | 170 | △26.3 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|----|----------------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 21年6月期第3四半期 | 42 | 73 | — | — |
| 20年6月期第3四半期 | 39 | 46 | — | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|-------|-------|-------|------|--------|----|----------|--|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 | 銭 | |
| 21年6月期第3四半期 | 4,277 | 3,800 | 3,800 | 88.9 | 881 | 41 | | |
| 20年6月期 | 4,201 | 3,702 | 3,702 | 88.1 | 858 | 02 | | |

(参考) 自己資本 21年6月期第3四半期 3,800百万円 20年6月期 3,702百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|-------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年6月期 | — | — | — | 19 00 | 19 00 |
| 21年6月期 | — | — | — | — | — |
| 21年6月期 (予想) | — | — | — | 16 00 | 16 00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成 21 年 6 月期の業績予想 (平成 20 年 7 月 1 日 ~ 平成 21 年 6 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|-----|-------|-----|------|------|------|------|-------|-------|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通 期 | 6,450 | 0.8 | 577 | 41.7 | 553 | 37.2 | 316 | 111.8 | 73 | 25 |

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 無
[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 発行済株式数（普通株式）
- | | | |
|---------------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 21年6月期第3四半期 | 4,351,308株 |
| | 20年6月期 | 4,351,308株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年6月期第3四半期 | 38,927株 |
| | 20年6月期 | 36,379株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計期間） | 21年6月期第3四半期 | 4,313,570株 |
| | 20年6月期第3四半期 | 4,313,571株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 上記の予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、世界経済の牽引役をつとめてきた米国における金融不安及び景気後退が世界的に波及するなか、株価下落及び円高の固定化が懸念される状況のもと、輸出企業を中心とした企業収益の悪化が進行し、設備投資の減少及び雇用情勢の悪化を招いております。また、個人消費におきましても、雇用不安や景気後退感による生活防衛意識の高まりから急速な減退をみており、全般的に不況色を強める状況のもと推移してまいりました。

外食産業におきましては、原料価格の高騰による収益圧迫からは脱しつつありますが、個人消費が減退傾向を示すなか、利用動機の減退が強く懸念され減収圧力は増加傾向にあり、総じて非常に厳しい経営環境を強いられております。

こうした状況の下、当社は、当第3四半期累計期間において「日本海庄や」2店を開店いたしました。また、「庄や」1店を全面改装し、「やるき茶屋」に業態変更いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間末の店舗数は、大衆割烹「庄や」35店舗、「日本海庄や」32店舗、無国籍料理「KUSHI1949KYU」1店舗、カラオケスタジオ「うたうんだ村」6店舗、旬菜・炭焼「炉辺」2店舗、気楽な安らぎ処「やるき茶屋」3店舗、コーヒー専門店「ドトールコーヒーショップ」1店舗の合計80店となっております。

当第3四半期累計期間におきましても、既存店の活性化を図るべく、地域一番店を目指す方針に基づき人材の発掘・登用を積極的に行い、また「わざわざご来店いただいたお客様」に感謝するためのきめ細かい施策を継続して実施してまいりました。

以上により、当第3四半期累計期間の業績は売上高4,765百万円、売上総利益3,349百万円、販売費及び一般管理費については3,050百万円となり、営業利益は298百万円となりました。

経常利益につきましては320百万円となり、庄や越谷駅前店の区画整理による閉店に伴い、特別利益に受取補償金45百万円及び特別損失に固定資産除却損11百万円計上したこと等により、税引前四半期純利益は357百万円、四半期純利益は184百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における資産の状況は、現金預金を主とした流動資産の増加218百万円、庄や越谷駅前店の区画整理による閉店に伴う有形固定資産の減少等固定資産の減少141百万円により、総資産4,277百万円（対前事業年度末比76百万円増）となりました。

負債は、長短借入金の減少24百万円等により、476百万円（対前事業年度末比22百万円減）となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により3,800百万円（対前事業年度末比98百万円増）となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は464百万円となりました。

収入の主な内訳は、税引前四半期純利益357百万円、減価償却費234百万円、賞与引当金の増加額11百万円、有形固定資産除却損11百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額136百万円、その他減少額25百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は92百万円となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入78百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出126百万円、定期預金の預入による支出49百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は108百万円となりました。

支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出32百万円、配当金の支払額82百万円であります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年6月期の業績予想については、平成20年8月20日に公表した業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(固定資産の減価償却の算定方法)

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、最終仕入原価法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる損益への影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期会計期間末 (平成21年3月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年6月30日) |
|---------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,207,532 | 977,167 |
| 売掛金 | 36,622 | 37,475 |
| 商品 | 121 | 91 |
| 原材料 | 32,063 | 37,265 |
| その他 | 85,292 | 91,502 |
| 貸倒引当金 | △44 | △61 |
| 流動資産合計 | 1,361,587 | 1,143,441 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 1,623,554 | 1,732,459 |
| その他（純額） | 349,167 | 359,415 |
| 有形固定資産合計 | 1,972,721 | 2,091,874 |
| 無形固定資産 | 15,641 | 16,303 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 783,528 | 787,739 |
| その他 | 256,927 | 275,637 |
| 貸倒引当金 | △112,616 | △113,392 |
| 投資その他の資産合計 | 927,838 | 949,984 |
| 固定資産合計 | 2,916,202 | 3,058,162 |
| 資産合計 | 4,277,789 | 4,201,603 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 140,055 | 133,105 |
| 短期借入金 | 7,498 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 23,882 | 38,760 |
| 未払法人税等 | 56,465 | 63,205 |
| 賞与引当金 | 15,648 | 4,500 |
| その他 | 232,422 | 241,666 |
| 流動負債合計 | 475,972 | 481,236 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 845 | 18,061 |
| 固定負債合計 | 845 | 18,061 |
| 負債合計 | 476,817 | 499,297 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期会計期間末 (平成21年3月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年6月30日) |
|--------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 275,100 | 275,100 |
| 資本剰余金 | 88,500 | 88,500 |
| 利益剰余金 | 3,470,222 | 3,367,883 |
| 自己株式 | △35,018 | △32,845 |
| 株主資本合計 | 3,798,804 | 3,698,638 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,168 | 3,667 |
| 評価・換算差額等合計 | 2,168 | 3,667 |
| 純資産合計 | 3,800,972 | 3,702,305 |
| 負債純資産合計 | 4,277,789 | 4,201,603 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 当第3四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 4,765,571 |
| 売上原価 | 1,416,325 |
| 売上総利益 | 3,349,246 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,050,967 |
| 営業利益 | 298,278 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 1,855 |
| 協賛金収入 | 18,549 |
| その他 | 3,444 |
| 営業外収益合計 | 23,849 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 395 |
| その他 | 822 |
| 営業外費用合計 | 1,217 |
| 経常利益 | 320,909 |
| 特別利益 | |
| 前期損益修正益 | 2,238 |
| 受取補償金 | 45,024 |
| 貸倒引当金戻入額 | 792 |
| 特別利益合計 | 48,054 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 11,868 |
| 特別損失合計 | 11,868 |
| 税引前四半期純利益 | 357,096 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 150,585 |
| 法人税等調整額 | 22,188 |
| 法人税等合計 | 172,774 |
| 四半期純利益 | 184,321 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 当第3四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日) |
|-------------------------|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純利益 | 357,096 |
| 減価償却費 | 234,986 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △792 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 11,148 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,400 |
| 支払利息 | 395 |
| 有形固定資産除却損 | 11,868 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 852 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 5,172 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 6,950 |
| その他 | △25,743 |
| 小計 | 599,534 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,400 |
| 利息の支払額 | △388 |
| 法人税等の支払額 | △136,744 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 464,801 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の預入による支出 | △49,220 |
| 定期預金の払戻による収入 | 78,012 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △126,976 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △4,220 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 7,638 |
| その他 | 2,733 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △92,032 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 7,498 |
| 長期借入金の返済による支出 | △32,094 |
| 自己株式の取得による支出 | △2,172 |
| 配当金の支払額 | △82,043 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △108,812 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 263,957 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 927,452 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,191,409 |

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第3四半期累計期間

| 区分 | 前年同四半期 (自 平成19年7月1日 至 平成20年3月31日) | |
|----------------|---|------------|
| | 金額 (千円) | 百分比 (%) |
| I 売上高 | 4,845,914 | 100.0 |
| II 売上原価 | 1,474,071 | 30.4 |
| 売上総利益 | 3,371,843 | 69.6 |
| III 販売費及び一般管理費 | 3,055,879 | 63.1 |
| 営業利益 | 315,963 | 6.5 |
| IV 営業外収益 | 14,762 | 0.2 |
| V 営業外費用 | 15,543 | 0.3 |
| 経常利益 | 315,183 | 6.4 |
| VI 特別損失 | 8,126 | 0.1 |
| 税引前四半期純利益 | 307,056 | 6.3 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 141,164 | |
| 法人税等調整額 | △4,209 | 136,955 |
| 四半期純利益 | | 170,101 |
| | | 3.5 |

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書
前第3四半期累計期間

| | 前年同四半期 (自 平成19年7月1日 至 平成20年3月31日) |
|----------------------------|---|
| 区分 | 金額 (千円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純利益 | 307,056 |
| 減価償却費 | 245,825 |
| 長期前払費用の償却額 | 4,955 |
| 保証金の償却額 | 814 |
| 貸倒引当金の減少額 (△) | △554 |
| 賞与引当金の増加額 | 26,500 |
| 受取利息及び配当金 | △2,248 |
| 支払利息 | 886 |
| 有形固定資産除却損 | 8,126 |
| 売上債権の増加額 (△) | △768 |
| たな卸資産の減少額 | 3,449 |
| 仕入債務の増加額 | 3,994 |
| 未払消費税等の減少額 (△) | △9,565 |
| その他 | △19,657 |
| 小計 | 568,813 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,248 |
| 利息の支払額 | △845 |
| 法人税等の支払額 | △258,144 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 312,072 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の預入による支出 | △50,118 |
| 定期預金の払戻による収入 | 60,014 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △4,995 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △208,902 |
| 有形固定資産の除却による支出 | △3,728 |
| 貸付による支出 | △5,336 |
| 貸付金の回収による収入 | 9,332 |
| 差入保証金の差入による支出 | △18,000 |
| 差入保証金の回収による収入 | 3,638 |
| その他 | △6,454 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △224,550 |

| | 前年同四半期 (自 平成19年7月1日 至 平成20年3月31日) |
|---------------------|---|
| 区分 | 金額 (千円) |
| Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入による収入 | 10,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △59,343 |
| 自己株式の売却による収入 | 10,625 |
| 配当金の支払額 | △90,421 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △129,138 |
| Ⅳ 現金及び現金同等物の減少額 (△) | △41,616 |
| Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,007,276 |
| Ⅵ 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 965,659 |
| | |